

危険な合理化 厳しい監視を

人員無補充、成り行き人員での常一帯の三交代との統合が五月十一日から強行された。

最初の提案に比べるとかなり修正されたものの、常一帯に残る者も従来からの三交代勤務者も含めて、生命の危険とつきさ(労働強化)はますます増大していく。

精神論でなく 具体策を示せ

特に、永年常一帯勤務で家族と生活のバランスを何とか保ってきた者にとっては、強制されたものに肉体的・精神的な負担はかなりの大きい。

「もうちょっとで定年退職だ」というのに、言葉で表現されるよりも、三池労組が反対してきた常一帯の三交代の合理化が、とうとう十一日から強行された。



現場は大丈夫か。合理化後の保安が心配

職場の声

三池労組が反対してきた常一帯の三交代の合理化が、とうとう十一日から強行された。

それによって、各現場の人員不足をとりつめようとする会社の手前勝手な合理化にほかならない。

労働者の家庭生活の破壊をどう考えているのだろうか。会社の都合だけの理由ではどうして納得のいくことではない。多くの労働者の不満が湧き上がっているのも先刻承知のはずだ。

今後、この合理化によって起こるであろうと思われる保安上の様々な矛盾や事故の責任は、一切会社にあることを銘記すべきである。われわれは、今後各現場での保安上の矛盾や問題をきびしく監視していかねばならない。人命の危険は、われわれ働く者のすくすくには迫っている。

暴君・愚妻

四組の旧婚旅行

四分會 伊東 猛

桜も終わり、春から初夏へ。いよいよ「ジュンブライト」結婚シーズンの到来である。

最近、結婚式に出席となると、まず三万円が相場、相手や場所次第では五万円となる。

昨今の価値観や価値感、価値体系の変化には驚くばかりで、建前と本音の落差が物凄い。

小生の時は、五百円の会費だったが、バンド付き飲み放題、社会科学を唱じていたと無宗教の関係で、神前でも仏前でもなく、前回の葬式に親族は少々戸惑ったようだが、わが青春を燃やした社員

ほんとかな

九一年の勤労者世帯の平均貯蓄残高は一千二百八十八万円という総務庁の調査結果が出ました。

当然「わが家のどこにそんなお金が……」という疑問が出てきます。総務庁の調査でいう「貯蓄」とは、①金融機関への一切の預貯金、②生命保険、損害保険、生命共済、郵便局の簡易保険、年金の掛け金、③株式などの有価証券、④社内預金や共済組合の預貯金、⑤財形貯金の積立金、などをすべて含んでいます。

敬弔

桑原孝之さん(三池不当解雇訴訟団・五十八歳)五月十二日午後三時ごろ自宅で永眠されました。十三日通夜、十四日葬儀、いずれも白雲社上宮斎場。遺族は、大牟田市末広町一三三に房子夫人。ご逝去を悼み、ご冥福をお祈り致します。

主婦会統一行事

とき 5月31日(日)
ところ ニュー河内温泉センター
・大牟田郵便局前 9時30分出発
・荒尾山の手ストア前 9時50分出発

あほんだら



炭労——激闘あの日あの日

炭労OB、炭婦協と現役の活動家による証言
(私も推せんします。)



福岡県知事
奥田 八二



北海道知事
横路 孝弘

既刊 炭労40年史(税送料込)5,000円 A5判・約1,000頁

発売中!

A5判・548頁
定価3,000円(税込) 送料実費

日本炭鉱労働組合

〒101 東京都千代田区神田駿河台3-2-11 総評会館7F
TEL. 03-5256-1941代 FAX. 03-5256-1940

創 広

〒162 東京都新宿区神楽坂2-16 岡本ビル
TEL. 03-3268-0323代 FAX. 03-3268-4469

◆ 組合事務所にあります。お問い合わせは三池労組へ。